

HEI 2-69013

EXHAUSTING NOISE REDUCTION DEVICE OF ENGINE

An exhausting noise reduction device of an engine, comprising: a plurality of tubular resonance chambers connected to between an exhaust tube of an engine and an exhaust gas inlet tube of a muffler, the tubular resonance chambers having different resonant frequencies and each including a sound absorbing material such as glass wool charged inside.

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-69013

⑬ Int. Cl. 5

F 01 N 7/02
B 60 K 13/04
F 01 N 1/04
F 02 B 27/04

識別記号

B

庁内整理番号

7714-3G
8108-3D
8511-3G
7616-3G

⑭ 公開 平成2年(1990)5月25日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 エンジンの排気騒音低減装置

⑯ 実 願 昭63-147151

⑰ 出 願 昭63(1988)11月11日

⑱ 考 案 者 平 澤 好 治 東京都港区芝5丁目33番8号 三菱自動車工業株式会社内

⑲ 出 願 人 三菱自動車工業株式会 東京都港区芝5丁目33番8号
社

⑳ 代 理 人 弁理士 広 渡 禧 彰

㉑ 実用新案登録請求の範囲

エンジンの排気管とマフラの排気ガス入口管との間に、夫々共鳴振動周波数が異なる複数の管状共鳴室を接続し、各管状共鳴室内に夫々グラスウール等の吸音材を装入してなることを特徴とするエンジンの排気騒音低減装置。

図面の簡単な説明

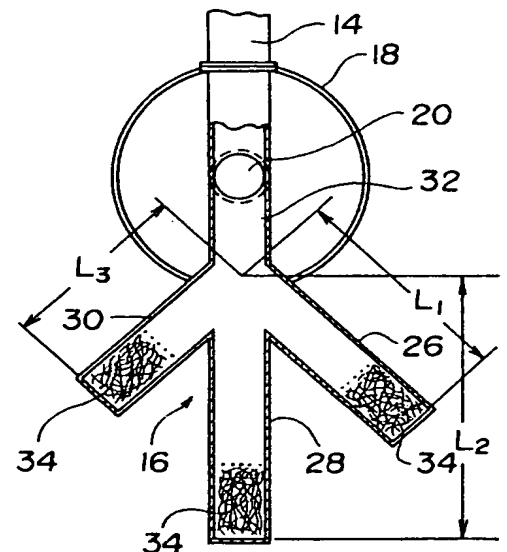
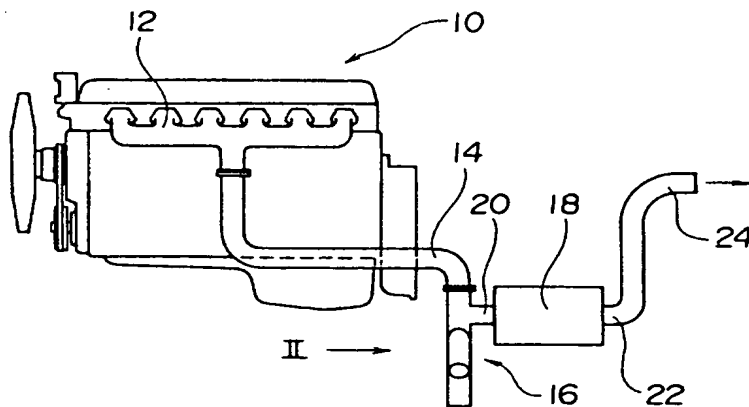
第1図は本考案の一実施例を示す概略構成図、

第2図は第1図の矢印II方向から見た要部を断面で示した拡大正面図、第3図は第1図及び第2図に示した共鳴室装置16による減音効果を示した線図である。

10……エンジン、12……排気マニホールド、14……排気管、16……共鳴室装置、18……マフラ、24……テールパイプ、26、28及び30……管状共鳴室、34……吸音材。

オ 2 図

オ 1 図



才 3 図

